



# 高輪だより

令和2年度 11月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

もうすぐ「たかなわんぴく」

園長 柿沼 敦子

10月の遠足は、お天気に恵まれました。3歳児は高松中学校に親子で出かけました。芝生広場で親子一緒に過ごす時間は、幸せな笑顔でいっぱいでした。4、5歳児は新宿御苑にバスで出かける遠足が叶い、秋の自然に親しみました。広い場所を走ったり、どんぐりを拾ったりして、子どもたちが夢中で遠足を楽しむ姿があり、出かけることができた幸せをしみじみと感じました。

さて、今年開催予定だった「東京オリンピック・パラリンピック2020」は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により来年に延期となりました。大人も子どもも期待を膨らませ楽しみにしていたので残念です。先日、5歳児は、担任が教材として選んだオリンピック・パラリンピックの動画を見ました。子どもたちは、開会式の花火や聖火、様々な国の人々の嬉々とした表情の華やかな映像が流れる度に感嘆の声を上げました。やはり、オリンピック・パラリンピックを身近で感じてほしいと思った瞬間でした。競技の映像にも強く関心を示し、真剣な表情で視聴していました。オリンピックのリレーには自分たちを重ねていました。パラリンピックでは「手だけで泳いですごく速かった」「義足を付けている人が最後まであきらめないでかっこよかった」という感想を伝える姿に成長を感じました。保育室の誕生表は、どんな競技の選手になってみたいか、自分を選手に見立てて描いた絵があります。サッカー、バトミントン、水泳、新体操等々、その競技ならではの動きなどを工夫して描いています。子どもたちがあこがれる姿です。そして、保育室には世界地図が掲示され、世界には多くの国があることを知り、国名や国旗にも興味をもちました。11月7日(土)に親子スポーツデーがあります。関心の高まった5歳児は、みんなで相談して「たかなわんぴく」と命名し、競技の看板作りに意欲的に取り組みました。子どもたちが考えた親子で楽しむ競技の看板です。さらに5歳児ならではのリレーやダンスは、毎日楽しむ中で技能が向上し、チームや学年で結びつきを高めていく活動となっています。

4歳児は、ビニール袋に砂を入れガムテープで巻いて「ボッチャ」のボールを作りました。的に向かって何度も挑戦する姿があります。また屋上では、度々“うめ組選手権”と称してかけっこを楽しんでいます。大好きなかけっこでは自分の名前をいう声に自然と力が入ります。

3歳児は、リレーをしている年長の姿を見て直ぐに走り出す姿や担任がセッティングした様々なコースで自分なりの動きを楽しむ可愛い姿があります。楽しいので何度も何度も取り組み、やっているうちに自然に運動能力が育っていきます。

オリンピック・パラリンピック教育の目標は、「世界中の人々がもつ人種や文化、宗教、価値観などの多様性を尊重し、世界平和に向けて活躍できる人間を育てること」です。まず、私たちの身近な「たかなわんぴく」でその目標を達成していきましょう。幼児、保護者、教職員一人ひとりが心を「わくわく」させて個性を光らせながら取り組み、互いにその姿を認め合い、心が「ぽかぽか」になる言葉で応援し、「たかなわんぴあん」みんなで金メダルを目指しましょう。

5歳児「たかなわんぴく」看板づくり



4歳児 ボッチャに挑戦



3歳児  
親子遠足

